

シーン - 11 里山林健全化事業

事業目的

里山広葉樹林は、薪炭や椎茸栽培の材料などとして利用され、管理されてきましたが、生活様式の変化や山間部の人口減少・高齢化等により、利用管理がされなくなっています。このような中、近年、老齢のナラ類を好んで寄生するカシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ被害」が拡大していることから、ナラ枯れ被害木の早期駆除を行い里山広葉樹林の保全を図ります。

事業効果

| | |
|----------|-------|
| CO2削減量 | - |
| その他(駆除量) | 600m3 |

事業内容

平成26年度事業費 18,700千円

ナラ枯れ被害の駆除: 被害木の駆除に対する補助
実施主体 市町村

[平成26年度]
事業量 600m3
補助額 40,000円 / m3以内



被害木の伐倒



ビニール被覆と薬剤処理

現状



管理放棄され、荒廃が進行し、近年は、ナラ枯れ被害も深刻化しています。

税導入後のイメージ



被害木を早期に駆除することにより、被害のまん延を防止します。また景観の保全や公益的機能が維持されます。